

令和 6 年度 改善計画書【 教育 】

推進責任者：宇佐川 毅

自己点検の観点	自己点検・評価項目	改善を要する点	改善計画
C:カリキュラム・ポリシーに基づいて、教育課程が体系的に編成され、適切な水準になっていること	(学位プログラム評価：C-1) カリキュラムマップ、カリキュラムツリー等に、履修の順序関係を明確にした体系性が示されていること。	【教育会議】 ◆カリキュラム・マップの様式について カリキュラム・マップについて、それぞれの学修成果の内容や、学修成果と関連性を示す記号が示されているが、学生を含むステークホルダーに向けてわかりやすい説明・表記となっているか検討いただきたい。	令和6年11月14日開催の教育会議で設置が了承された「令和6年度教育総合評価の教育会議に求められた改善に関するワーキンググループ」において、カリキュラム・マップの様式にかかる改善案について検討のうえ、令和6年12月13日開催の教育会議に提案し、審議・了承後、部局へ通知を行う予定である。
C:カリキュラム・ポリシーに基づいて、教育課程が体系的に編成され、適切な水準になっていること D:カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を学生が修了するために、教育課程が効果的に実施されていること I：学生が学修成果を達成するための支援が十分に行われていること	(教養教育プログラム評価：C-3) シラバスを検証することで、1単位当たり45時間の学修時間が必要であることが確認できること。 (教養教育プログラム評価：D-2) 全ての授業科目のシラバス、授業計画欄が当該授業科目の単位数により定められた授業時間に相当する授業回数分（8回、15回等）で構成されていること。 (全学共通評価：I-2) オフィスアワーが適切に周知されていることを確認する。	【教務委員会】 ◆シラバスについて 全学共通評価や教養教育プログラム評価において、シラバスチェックの結果、「オフィスアワーの周知状況」や「1単位あたりの45時間の学修時間が必要であること」、「授業計画欄が当該授業科目の単位数により定められた授業時間に相当する授業回数で構成されていること」等の項目において、昨年度と比較し芳しくない状況が見られたため、改善に向けた方策を検討いただきたい。	令和6年12月16日開催の教務委員会において、改善の提案を受けて対応について審議した結果、シラバスの入力について、各部局の教授会等にて周知徹底することが了承され、3月開催の教務委員会で周知状況を確認することとしている。
F：期待される学修成果の達成の程度について、適切に評価していること	(学位プログラム評価：F-7) 成績に関する異議を受け付ける窓口が組織的に設けられていること（受付後の対応の手順、様式等についても確認する。）	【工学部】 異議申し立ての窓口が組織的に設けられていることは確認できたが、「受付後の対応の手順、様式」が、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に沿った様式ではないため、改善いただきたい。	令和6年度前学期の学生あて異議申し立て告知文から、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に基づいた記載内容に改め、既に周知済である。 また、令和7年1月より作成に取りかかる「令和7年度の学生便覧」の記載より、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に基づいた記載内容に修正して、学生各位あてにも周知することとする。